第1回 労使共創シンポジウム 連合埼玉、埼玉県生産性本部共催

企業を強くするのは「現場」と「経営」の対話だ

～労使関係を「問題解決の仕組み」から「企業を強くする共創の基盤」へ！～

こんな方におすすめです
- 経営者・役員
- 人事・総務・労務担当者
- 労働組合役員
- 「会社をもっと強くしたい」と考えるすべての方々

人手不足、技能伝承、働き方の多様化、賃上げ――。
変化の時代に企業を強くするのは、現場の知恵を経営に生かす力です。
本シンポジウムでは、県内企業の実践事例を通して、
労使の対話が企業の競争力と組織の進化にどうつながるのかを考えます。

主催者挨拶	栗田 美和子 氏	一般社団法人埼玉県生産性本部会長
ご来賓挨拶	関根 昌浩 氏	埼玉県産業労働部雇用・人材戦略課
	竹内 秀之 氏	連合埼玉副会長
モデレータ	伊藤 将人 氏	ヤマヒロ株式会社取締役 （経営品質協議会認定セルフアセッサー、事業構想士）

問題提起 日本企業は何を強みにしてきたのか

＜誤解１＞日本企業の生産性は低い　＜誤解２＞日本企業にはイノベーションができない
＜誤解３＞競争力を強化するには雇用を流動化すべき　＜誤解４＞人財不足は働く人が減っているから

山田 久 氏　法政大学経営大学院教授（一社）埼玉県生産性本部理事

実践事例

多様な人材が活躍する職場づくり
～サンケン電気の働き方施策と今後の課題・対応～

働き方施策の取り組みと、従業員アンケート等から見えてきた課題を紹介。
多様な人材が活躍できる職場に向けた、今後の対応の方向性を考えます。

渡邉 隆行 氏　サンケン電気株式会社
コーポレートデザイン本部総務人事統括部、人材マネジメント部長
（電機連合埼玉地方協議会推薦）

人を財産に。労使で創る、誰もが活躍できる職場づくり

長年の労使の取り組みを通じて進めてきた、多様で安心して働ける職場づくりを紹介。
働き方、ダイバーシティ、学び、従業員の声を生かす実践を取り上げます。

水野 英二 氏　ボッシュ株式会社
人事部門人事企画部ゼネラルマネージャー
（JAM埼玉推薦）

クロストーク 会社は「なに」で強くなるのか

山田　久 氏	法政大学経営大学院教授
渡邉 隆行 氏	サンケン電気株式会社 コーポレートデザイン本部総務人事統括部、人材マネジメント部長
水野 英二 氏	ボッシュ株式会社 人事部門人事企画部ゼネラルマネージャー
伊藤 将人 氏	ヤマヒロ株式会社取締役

※各名義は申請中
共催：連合埼玉、埼玉県生産性本部
後援：経済産業省関東経済産業局、埼玉大学、埼玉県、埼玉県産業振興公社、埼玉県経営者協会、埼玉県経営品質協議会、／青木信用金庫、川口信用金庫、埼玉縣信用金庫、埼玉りそな銀行、中央労働金庫埼玉県本部、日本政策金融公庫さいたま支店、飯能信用金庫、武蔵野銀行／埼玉りそな産業経済振興財団、ぶぎん地域経済研究所／埼玉経済同友会、埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、埼玉県中小企業団体中央会、埼玉中小企業家同友会／埼玉新聞社、時事通信社さいたま支局、テレ玉／中央税務会計事務所
協力：公益財団法人日本生産性本部、経営品質協議会、サービス産業生産性協議会

2026
10/30（金）
15:20-17:30

参加費無料
会場+オンライン
同時開催

会場
大宮ソニックシティ
9階906室

定員
会場：70名
オンライン：定員なし

申込方法
埼玉県生産性本部
ホームページから
お申込みください
https://spc-net.gr.jp

お申込み・お問合せ先
一般社団法人埼玉県生産性本部 事務局（伊藤・西田） TEL 048-762-7884
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-10-4 埼玉建設会館6階

PRODUCERS

法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授

教授 **山田 久** 氏

住友銀行、日本経済研究センターを経て日本総合研究所に入社。調査部長、理事、副理事長を歴任し、マクロ経済・雇用・人材分野の調査研究と政策提言に長く携わる。2023年より法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授。人的資源管理、労働経済、日本経済を専門とし、多様な人材を活かすマネジメントや人事制度、キャリア形成などを研究。埼玉県生産性本部理事。

ヤマヒロ株式会社

取締役 **伊藤 将人** 氏

青山学院大学卒業後、昭和シェル石油株式会社に入社。営業、本社リテール販売部での人材育成・販売促進、研修センター長、各地の営業所長などを経験。2015年ヤマヒロ株式会社に入社。日本経営品質賞、埼玉県経営品質賞などの審査員を歴任し、組織変革や経営品質向上に取り組む。2024年事業構想大学院大学修了。2025年株式会社ナンバー2を設立。

埼玉県生産性本部の活動コンセプト

県内中小企業の労働生産性向上に貢献する情報発信

01 **継続的な改善を通じて既存事業を強化し、賃上げや未来への投資を実現する。**

02 **マネジメント力を向上させ、従業員エンゲージメントを高める職場環境を整える。**

03 **中小企業でも自社の成長領域、機会を探し活かすことでイノベーションを起こせる。**

埼玉県生産性本部は「経営者、労働組合、学識者」の三者で構成され運営されています。理念的なゴールは、生産性運動三原則が県内中小企業に理解され、共感を得ることです。近年の賃上げに関する社会的要請に貢献するためには、生産性運動三原則という理念の実現を目指す私たちの活動を継続することが重要であると考えます。

生産性運動 三原則

1. 雇用の維持拡大
2. 労使の協力と協議
3. 成果の公正な分配

SPC 埼玉県生産性本部

一般社団法人**埼玉県生産性本部** 事務局（伊藤・西田）TEL 048-762-7884

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-10-4 埼玉建設会館6階

https://spc-net.gr.jp